

東佐井寺留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

I 育成室の概要

(1) 児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数 101人（うち配慮を要する児童2人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	3教室
	42人	31人	15人	13人	0人	

(2) 受託事業者

株式会社セリオ（契約期間：令和6年4月～令和11年3月）

他に受託している育成室（佐井寺育成室、山手育成室、豊二育成室）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	2
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつの提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	2
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	2
8	配慮を要する児童（障がいを有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を適正に履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に貢献している。
- ②保護者アンケートの「子どもは、育成室に行くのは楽しいと言っている」、「子どもは、育成室の活動や行事を楽しみにしている。」、「育成室を安心して利用することができている。」の設問で、「思う」と「少し思う」の回答を合わせて、いずれも96%以上であり非常に高い割合である。
- ③たんぽぽガーデンやワークショップなどといった取組のほか、長期休暇中の活動として外部の先生を招いてけん玉教室、英語教室を開催するなど独自取組も行っている。